

説 明 書

1. 業務名

平成30年度訪日外国人旅行者周遊促進事業
「関西地区からの誘客促進事業のための情報発信事業」

2. 実施時期

契約締結の日～平成31年3月20日

3. 業務の目的

我が国では「訪日外国人旅行者数については、2020年には4,000万人、2030年には6,000万人」を実現するために、これまで以上に効果的なプロモーションを展開していく必要がある。

山陰インバウンド機構においては、2020年には、40万人延べ泊以上を目標に、2018年度（4月～3月）においては、25万人延べ泊以上を達成することを目的としている。

そのような状況を踏まえ、本事業では、山陰誘客の為の重要なゲートウェイである関西地区において増加している外国人を対象に山陰地域の観光の魅力や旅の楽しみ方をアピールすることにある。

また、関西地区からの山陰への誘客について、目標1,000人（延べ泊3,000人）の増加を本事業の目標として掲げている。

具体的には、JRレールパスの販売促進や、関西空港・難波～鳥取間の高速バスの広告、宣伝を十分に行うと同時に、商品造成も推進し、関西のランドオペレーター機能も活用し「関西から山陰へ」大きな訪日顧客の流れを生み出す仕組み作りである。

4. 業務の内容

関西空港をゲートウェイとして、大阪・京都などを訪問する外国人に対して、JRレールパスや関西空港・難波～鳥取間の高速バスの広告宣伝、及び商品造成の推進、関西のランドオペレーター機能の活用により関西から山陰へ訪日顧客が旅するように仕掛け仕向けること。

海外の6市場（韓国、香港、台湾、中国、欧米、東南アジアなど）の訪日外国人に対して山陰地区のアピール、アクセスについて宣伝、広告すること。

（JRパスとバスの告知を表裏に印刷したビラ配布5,000枚程度、イベントや、駅ビルでの広告なども含むものとする。）

I. JRパスの販売促進（関西ワイドパスと山陰岡山エリアパスの組み合わせ購入促進）及び、関西空港・難波～鳥取間の高速バスの宣伝広告の実施。

（1）広告、宣伝

関西地区に滞在中の訪日外国人に対し、今回或いは次回の訪日時に山陰地区への

来訪誘致につながるように、JRパスや高速バスの宣伝告知を十分に行うこと。

(2) 実施時期

平成30年7月頃～平成31年2月頃

(3) 実施内容

難波、心齋橋、道頓堀地区などにおいて実施する広告、宣伝に関して、外国人を対象として山陰訪問意欲が高まり、実際の山陰訪問につながるよう、最大限の効果が期待できる内容を提案すること。

(4) その他

- ①国慶節や、クリスマス、春節などの訪日外国人の増加する特定時期に対しても効果的な販売促進を提案すること。
- ②その広告宣伝などが、山陰誘致の為にどのように貢献し、山陰誘致に寄与していくのか等、事業予算に対する効果測定についても、できる範囲内で工夫を凝らして提案すること。

II、「関西（USJ）+山陰」の商品造成及び、関西のランドオペレーター機能活用に、
ついて

(1) 商品造成支援について

- ① 関西のランドオペレーター機能などを活用し、関西から山陰への商品造成推進にも取り組むこと。又、各市場のレップ機能等も活用し、最も効率的と思われるものについて商品造成を調整すること。
- ② 個人旅行、グループ旅行、団体旅行など旅行形態にとらわれず、幅広い受け入れが出来るように、又、事業効果が最大なるよう提案すること。

5. **事業効果の調査・分析業務**

訪日外国人旅行者に対しアンケート調査などを実施し、本事業の効果を調査・分析すること。

なお、調査・分析の結果について随時報告を行うとともに、後記の実施報告書によりとりまとめること。

6. **成果物の提出等**

(1) 成果物

事業実施報告書（A4判） 5部

(2) 提出場所

（一社）山陰インバウンド機構

(3) 提出期限

平成31年3月20日（水）

なお、作成にあたっては、以下について留意のこと。

- ① 事前に監督職員の承認を受けること。
- ② 事業実施状況等をわかり易く編集すること。
- ③ 事業実施による効果を調査し、取りまとめること。

7. その他

- (1) (一社)山陰インバウンド機構と十分協議しながら事業を進めること。
- (2) 事業の実施にあたっては、「Japan. Endless Discovery.」のロゴマークや「縁の道～山陰～」のロゴマークを使用するなど、国の進める事業の趣旨に沿って行うよう配慮すること。
- (3) 可能な限り日本政府観光局(JNTO)が運営する Web サイト <http://www.jnto.go.jp/>や(一社)山陰インバウンド機構が運営する Web サイト <https://www.sanin-tourism.com/>へのリンク設定、URL・QR コードの掲載などによって、インターネットでの検索やアクセスが可能な環境を整備し、各 Web サイトへの誘導に配慮すること。